

Indonesia Weekly

2020年2月10日



(対象期間：2020/2/3～2020/2/7)

【株式市場】ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2020年2月7日)



【株式市場】

新型コロナウイルスの影響は限定的との見方などを背景に、インドネシア株式市場は週間で上昇しました。週初は感染拡大と世界経済の減速懸念などに加え、2019年のGDP成長率が政府目標を下回ったことなどから下落しましたが、政府高官が国内経済への影響は限定的であると述べたほか、インドネシア中央銀行（BI）による金融緩和と政策維持への期待、中国政府が一部の米国製品に対する関税を引き下げると発表したことも追い風となりました。

2020/1/31	2020/2/7	変化率
5,940.05	5,999.61	+1.00%

【債券市場】インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2020年2月7日)



【債券市場】

インドネシア10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。週初は新型コロナウイルスの影響が懸念され利回りは上昇したものの、その後の中国の感染拡大防止措置や景気対策期待などからリスク選好志向が強まりました。また、国債の入札が引き続き好調であったことも利回りの低下につながった他、BIが金融緩和政策の維持や利下げ以外の緩和策について述べたことも好感されました。

2020/1/31	2020/2/7	変化幅
6.680	6.584	-0.096

【為替市場】インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2020年2月7日)



【為替市場】

週初、新型コロナウイルスの感染拡大懸念によるルピア下落を受け、BIは為替介入したものの、一時約3週間ぶりの安値を記録しました。その後、中国の景気対策への期待や、株式市場の続伸などを背景にルピアは上昇しました。週末には最大貿易相手国である中国の新型コロナウイルスの感染拡大の影響により2020年のGDP成長率が政府目標を下回る可能性を示唆したことが嫌気されましたが、外貨準備高がグローバル債券の発行などを背景に2018年1月以来最高となったことも好感され、週間では対米ドル、対円ともに上昇しました。

2020/1/31	2020/2/7	変化率
0.7926	0.7991	+0.82%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシユアランス社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ